

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 東海財務局長

**【提出日】** 平成25年12月27日

**【四半期会計期間】** 第43期第1四半期(自 平成25年8月21日 至 平成25年11月20日)

**【会社名】** ケイティケイ株式会社

**【英訳名】** ktk INC.

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 青山 英生

**【本店の所在の場所】** 名古屋市東区泉二丁目3番3号

**【電話番号】** (052)931-1881(代表)

**【事務連絡者氏名】** 常務取締役管理本部長 木村 裕史

**【最寄りの連絡場所】** 名古屋市東区泉二丁目3番3号

**【電話番号】** (052)931-1881(代表)

**【事務連絡者氏名】** 常務取締役管理本部長 木村 裕史

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)  
ケイティケイ株式会社 東京支店  
(東京都大田区蒲田四丁目22番3号 住友生命蒲田ビル3F)  
ケイティケイ株式会社 大阪支店  
(大阪府中央区南船場一丁目13番14号 西田ビル4F)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次 会計期間	第42期 第1四半期 連結累計期間	第43期 第1四半期 連結累計期間	第42期
	自 平成24年 8月21日 至 平成24年11月20日	自 平成25年 8月21日 至 平成25年11月20日	自 平成24年 8月21日 至 平成25年 8月20日
売上高 (千円)	2,064,595	4,020,812	12,491,675
経常利益又は経常損失( ) (千円)	26,678	83,960	35,561
四半期(当期)純利益 又は四半期純損失( ) (千円)	18,076	49,882	147,834
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	18,097	41,192	164,754
純資産額 (千円)	1,954,423	2,454,587	2,507,225
総資産額 (千円)	4,216,792	7,835,248	7,915,672
1株当たり四半期(当期)純利益 金額又は1株当たり四半期純損 失金額( ) (円)	4.96	8.71	29.36
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	46.3	31.3	31.7

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 第42期第1四半期連結累計期間、第42期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 第43期第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
5. 第43期第1四半期連結累計期間及び第42期の総資産額などが、第42期第1四半期連結累計期間と比較して増加した主な理由は、株式会社青雲クラウン及びS B Mソリューション株式会社が連結対象会社となったことによるものであります。
6. 当社の連結子会社である株式会社青雲クラウンでは、多くの顧客の年度末にあたる当社第3四半期連結会計期間及び第4四半期連結会計期間に売上高が多く計上されるという季節的変動があります。

#### 2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容に重要な変更はありません。また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等は行われていません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間(平成25年8月21日～平成25年11月20日)におけるわが国経済は、政府主導による経済政策や日本銀行の金融緩和政策を背景に、輸出産業を中心とした企業の業績改善や個人消費の持ち直しが見られたものの、海外経済の動向や消費税増税後の需要動向に対する不安感などから、依然として先行き不透明な状況で推移しております。

このような状況のもと、当社グループは当第1四半期連結累計期間より営業体制を見直し、お客様の立場に立ったきめ細かな営業活動を展開しました。しかしながら、企業の業況感に明るい兆しは感じられるものの、企業のコスト削減意識は根強いいため、競合間での販売競争は激化しており、引き続き厳しい状況が続いております。

これらの結果、売上高は4,020,812千円(前年同四半期比94.8%増)となりました。営業損失は90,347千円(前年同四半期連結累計期間は26,623千円の営業利益)、経常損失は83,960千円(前年同四半期連結累計期間は26,678千円の経常利益)、四半期純損失は49,882千円(前年同四半期連結累計期間は18,076千円の四半期純利益)となりました。

なお、セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### (サプライ事業)

当社グループの主力商品であるリサイクル商品(リパクトナー)は、販売本数は前年同四半期を上回ったものの、競合他社との販売競争の影響を受け平均販売単価が下落、売上高は前年同四半期を下回る結果となりました。

OAサプライ商品は、新品トナーカートリッジやサプライ用品、ビジネスフォームなどの紙製品の売上高が順調に推移しました。

その他商品においては、当社独自のWeb購買システム「ケイティケイ はっするネット」の推進により一般事務用品などの売上高が順調に推移、また前期第2四半期より連結対象となった株式会社青雲クラウンの売上高、今期より連結対象となったS B Mソリューション株式会社の売上高が加わり、増加しました。

これらの結果、売上高は3,968,436千円(前年同四半期比97.7%増)、セグメント損失(経常損失)は87,780千円(前年同四半期連結累計期間は17,533千円のセグメント利益)となりました。

なお、当社の連結子会社である株式会社青雲クラウンの業績は、多くの顧客の年度末にあたる当社第3四半期連結会計期間及び第4四半期連結会計期間に売上高が多く計上されるという季節的変動があります。

#### (ソリューション事業)

「@Securemail」シリーズによる売上高が増加したものの、大型ホスティング案件の終了と旧サービスの契約変更による売上減の影響を受けました。

これらの結果、売上高は52,376千円(前年同四半期比8.5%減)、セグメント利益(経常利益)は3,820千円(前年同四半期比58.2%減)となりました。

#### (2) 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べ80,423千円減少し、7,835,248千円となりました。

流動資産は、受取手形及び売掛金が177,875千円増加したこと等により前連結会計年度末に比べ142,183千円増加の5,361,062千円となりました。固定資産は、埼玉営業所として使用しておりました資産の売却等により有形固定資産が127,427千円、保険積立金の解約等により投資その他の資産が82,332千円減少したことから前連結会計年度末に比べ222,607千円減少の2,474,185千円となりました。

流動負債は、短期借入金が205,498千円増加し、支払手形及び買掛金が287,041千円減少したこと等により前連結会計年度末に比べ28,820千円減少の4,677,212千円となりました。

固定負債は、長期借入金が109,079千円増加し、役員退職慰労引当金が107,822千円減少したこと等により前連結会計年度末に比べ1,034千円増加の703,448千円となりました。

純資産は、四半期純損失の計上及び配当金の支払いにより利益剰余金が61,327千円減少したこと等により前連結会計年度末に比べ52,637千円減少の2,454,587千円となりました。

#### (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当連結会社の事業上及び財務上の対処すべき課題に変更及び新たに生じた課題はありません。

#### (4) 研究開発活動

当社グループでは、サプライ事業のリサイクル新商品に関する研究開発活動を連結子会社である株式会社アイオーテクノにて行っており、当第1四半期連結累計期間の研究開発費は4,834千円でありませ

ず。  
なお、当第1四半期連結累計期間において当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	12,000,000
計	12,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成25年11月20日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年12月27日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	5,875,000	5,875,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数は100株でありま す。
計	5,875,000	5,875,000		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年11月20日		5,875		294,675		708,475

##### (6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年11月20日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式152,800		
完全議決権株式(その他)	普通株式5,721,400	57,214	
単元未満株式	普通株式 800		
発行済株式総数	5,875,000		
総株主の議決権		57,214	

(注) 1 「単元未満株式」の欄の普通株式には、当社所有の自己株式15株を含んでおります。

2 当第1四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成25年8月20日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【自己株式等】

平成25年11月20日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) ケイティケイ株式会社	名古屋市東区泉 二丁目3番3号	152,800		152,800	2.60
計		152,800		152,800	2.60

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成25年8月21日から平成25年11月20日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成25年8月21日から平成25年11月20日まで)に係る四半期連結財務諸表について、五十鈴監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年8月20日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年11月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,924,197	1,870,830
受取手形及び売掛金	2,535,410	2,713,286
有価証券	20,998	21,000
商品及び製品	536,933	543,515
仕掛品	2,972	468
原材料及び貯蔵品	65,872	64,180
その他	137,036	151,874
貸倒引当金	4,542	4,092
流動資産合計	5,218,879	5,361,062
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,174,804	1,104,279
その他(純額)	463,971	407,069
有形固定資産合計	1,638,776	1,511,348
無形固定資産		
その他	227,590	214,743
無形固定資産合計	227,590	214,743
投資その他の資産		
その他	839,737	757,455
貸倒引当金	9,310	9,361
投資その他の資産合計	830,426	748,094
固定資産合計	2,696,793	2,474,185
資産合計	7,915,672	7,835,248
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,875,907	2,588,865
短期借入金	1,384,582	1,590,080
未払法人税等	20,621	3,354
賞与引当金	30,939	21,400
その他	393,983	473,511
流動負債合計	4,706,033	4,677,212
固定負債		
長期借入金	404,928	514,007
役員退職慰労引当金	183,405	75,582
その他	114,081	113,859
固定負債合計	702,414	703,448
負債合計	5,408,447	5,380,660



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年8月20日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年11月20日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	294,675	294,675
資本剰余金	708,475	708,475
利益剰余金	1,532,242	1,470,915
自己株式	46,419	46,419
株主資本合計	2,488,973	2,427,646
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,251	26,941
その他の包括利益累計額合計	18,251	26,941
純資産合計	2,507,225	2,454,587
負債純資産合計	7,915,672	7,835,248

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】  
【四半期連結損益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年8月21日 至平成24年11月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年8月21日 至平成25年11月20日)
売上高	2,064,595	4,020,812
売上原価	1,529,533	3,251,068
売上総利益	535,062	769,744
販売費及び一般管理費	508,439	860,091
営業利益又は営業損失( )	26,623	90,347
営業外収益		
受取利息	35	210
受取配当金	81	4,343
仕入割引	-	8,451
受取家賃	1,773	7,813
その他	1,112	3,912
営業外収益合計	3,003	24,731
営業外費用		
支払利息	2,607	5,691
売上割引	-	10,169
その他	340	2,482
営業外費用合計	2,948	18,344
経常利益又は経常損失( )	26,678	83,960
特別利益		
保険解約益	-	12,198
特別利益合計	-	12,198
特別損失		
投資有価証券評価損	1,051	-
特別損失合計	1,051	-
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失( )	25,626	71,762
法人税、住民税及び事業税	12,483	2,247
法人税等調整額	4,933	24,126
法人税等合計	7,549	21,879
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失( )	18,076	49,882
四半期純利益又は四半期純損失( )	18,076	49,882

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年8月21日 至平成24年11月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年8月21日 至平成25年11月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失( )	18,076	49,882
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	20	8,689
その他の包括利益合計	20	8,689
四半期包括利益	18,097	41,192
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	18,097	41,192
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

売上高の季節的変動

当社の連結子会社である株式会社青雲クラウンでは、多くの顧客の年度末にあたる当社第3四半期連結会計期間及び第4四半期連結会計期間に売上高が多く計上されるという季節的変動があります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年8月21日 至 平成24年11月20日)		当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年8月21日 至 平成25年11月20日)	
減価償却費	21,636千円	減価償却費	30,803千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 平成24年8月21日 至 平成24年11月20日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年11月13日 定時株主総会	普通株式	10,911	3	平成24年8月20日	平成24年11月14日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成25年8月21日 至 平成25年11月20日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年11月13日 定時株主総会	普通株式	11,444	2	平成25年8月20日	平成25年11月14日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成24年8月21日 至 平成24年11月20日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	サプライ事業	ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,007,369	57,226	2,064,595		2,064,595
セグメント間の内部売上高 又は振替高		147	147	147	
計	2,007,369	57,373	2,064,743	147	2,064,595
セグメント利益	17,533	9,144	26,678		26,678

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を図っております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成25年8月21日 至 平成25年11月20日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	サプライ事業	ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,968,436	52,376	4,020,812		4,020,812
セグメント間の内部売上高 又は振替高		94	94	94	
計	3,968,436	52,470	4,020,906	94	4,020,812
セグメント利益又は セグメント損失( )	87,780	3,820	83,960		83,960

(注) セグメント利益又はセグメント損失( )は、四半期連結損益計算書の経常損失と調整を図っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年8月21日 至平成24年11月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年8月21日 至平成25年11月20日)
1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり四半期純損失金額( )	4円96銭	8円71銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は 四半期純損失金額( ) (千円)	18,076	49,882
普通株主に帰属しない金額 (千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額又は 普通株式に係る四半期純損失金額( ) (千円)	18,076	49,882
普通株式の期中平均株式数 (株)	3,637,285	5,722,185

- (注) 1 前第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。  
 2 当第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年12月27日

ケイティケイ株式会社  
取締役会 御中

五十鈴監査法人

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 太 田 豊 印

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 西 野 賢 也 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているケイティケイ株式会社の平成25年8月21日から平成26年8月20日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成25年8月21日から平成25年11月20日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成25年8月21日から平成25年11月20日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ケイティケイ株式会社及び連結子会社の平成25年11月20日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。  
以 上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。